

備前市 事務事業 評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和51年4月1日～		根拠法令・規程等		障害者自立支援法			
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり		問	担当課(室)	保健課			
	中項目	基本施策	02	健やかで生き生きしたまちづくり				合	職・氏名	健康係長・白髭由美子	
	小項目	施策	03	精神保健						先	電話
事務事業名		01	精神保健事業								

事業の実施		対象(誰・何に対して)		障害者とその家族や日常生活に不安がある方。精神障害者医療費給付事業については、国民健康保険の規定による被保険者である精神障害者で、自立支援医療費の支給を受けている者。	
目的(何のために)		通院を中断することなく適切な医療を受け、在宅の障害者が社会参加や自立できるよう支援する。			
行政活動(どのような方法で)		閉じこもり予防のための集まり(サロン)の提供。とまり木(週2日)、伊部交流サロン(週1日)。保健師、栄養士、相談員等による相談・支援。障害者家族会に対する運営支援と経費の助成。医療費の給付を受けることを希望する人からの給付申請申請により、国保連合会から送付される障害者自立支援法の負担にかかるとともに自立支援医療に要する費用のうち自己負担分を、4か月分まとめて年3回、本人名義の口座に振り込み通院医療費の助成を行う。			
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		治療中断や症状悪化を防止し通院継続を実施する人を増やす。			

事業の実績		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
活動	地域交流サロン利用人数(延人数)	人	596	796	815
	家族会員数	人	40	40	40.0
	家族会(集いと研修会)	回	15	15	18
	精神障害者通院医療費支給額	円	3,078,133	2,900,107	3,335,722
	精神障害者通院医療費支給対象者数(実人数)	人	199	196	194
	精神障害者通院医療費支給人数(実人数)	人	160	170	179

事業費		千円	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
直接事業費			6,407	4,085	4,558
必要人員	人件費	千円	0.95人 5,755	1.04人 6,737	0.94人 5,825
事業費	事業費		12,162	10,822	10,383
経費	国		1325		
	県				
	支				
	出				
受	益	者	負	担	
財	源				
市	の	他			
一	般	財	源		
受	益	者	負	担	比率
		%	10,837	10,822	10,383

結果指標①		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
地域交流サロン利用人数(延人数)	説明	とまり木、伊部交流サロン	596	796	815
対	前	年	比	%	133.6%
活	動	コ	ス	ト	12,162,000
単	位	当	た	り	コ
					20,406
精	神	障	害	者	通
院	医	療	費	支	給
支	給	対	象	者	数
(実	人	数)	175	170	179
結	果	指	標	量	
対	前	年	比	%	97.1%
活	動	コ	ス	ト	12,162,000
単	位	当	た	り	コ
					69,497

事業の成果		年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
精神障害者通院医療費支給率	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値(A)		100	100	100	100
	実績値(B)		80.4	86.7	92.3	到達目標年度
達成率(B/A)			80.4%	86.7%	92.3%	平成23年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
精神障害者通院医療費支給人数÷対象者数×100 (申請者数+第2期、3期新規申請者数) (7月に案内通知をした人数+第2期、3期新規案内通知人数)						

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事務事業の評価		市 関 与 の 妥 当 性		市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 類似した事業がある		妥当性評価<A~E>		B	
市民ニーズ		二		説明 伊部交流サロン開催日を週1日から2日に増やして欲しいと要望あり。		効果率性評価<A~E>		B	
コスト		手 段		単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		判定理由・課題認識		交流サロン、家族会運営を自立化に向けた支援をすることが効率化にもつながっている。精神障害者通院医療費支給対象者に後期高齢者医療制度加入者を追加したことによって事務処理が煩雑化しており検討を要する。	
目的達成度		市民参画度		成果指標の設定は適切である 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている		有効性評価<A~E>		B	
市民参画度				地域交流サロン開催回数や家族会、訪問、相談件数は増加しており対象者にとって要望の高い有効な事業となっている。		判定理由・課題認識			

平成21年度の状況		目標値	結果指標量①	950	結果指標量②	190	成果指標量	100
目	標	値	結果指標量①	950	結果指標量②	190	成果指標量	100
状	況	拡	充	○	現	状	継	続
見	直	し		縮	小		整	理
整	理	統	合		休	止		廃
止	止	・	完		了			
説	明	備前地区地域交流サロンは平成20年度月2回開催であったが、利用者の要望により平成21年度より月4回の開催しており集える場の拡充を図っている。						

総合評価		評価区分<A~E>		妥当性		有効性		効率性	
平成20年4月から備前地区に地域交流サロンを開催しており、備前、吉永地区の住民にとって利用しやすい環境になっている。精神障害者地域移行支援事業が推進されており、入院患者が退院する際に地域の中で気軽に出かけられ、仲間と集い語り合うことができる場となっている。また精神疾患の治療は継続的な通院と服薬が必要であることから精神障害者通院医療費給付制度利用により治療が継続され、症状の重症化を防止することができ、障害者の自立した生活保持につなげていくことができている。新規対象者には本制度を利用してもらえるよう訪問説明を引き続き行っていく。		B		△		△		△	

平成22年度以降の方向性・内容		拡 <th>充 <th>現 <th>状 <th>継 <th>続 <th>見 <th>直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	充 <th>現 <th>状 <th>継 <th>続 <th>見 <th>直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	現 <th>状 <th>継 <th>続 <th>見 <th>直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	状 <th>継 <th>続 <th>見 <th>直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	継 <th>続 <th>見 <th>直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	続 <th>見 <th>直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	見 <th>直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	直 <th>し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	し <th>縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	縮 <th>小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	小 <th>整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	整 <th>理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	理 <th>統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th></th>	統 <th>合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th></th>	合 <th>休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th></th>	休 <th>止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th></th>	止 <th>廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th></th>	廃 <th>止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th></th>	止 <th>・ <th>完 <th>了 </th></th></th>	・ <th>完 <th>了 </th></th>	完 <th>了 </th>	了	
方	向	性	○																					
説	明	様々なストレスにより、心の健康が損なわれる人が増加している。今後相談の機会を充実させる体制整備が必要である。																						
改	善	が	あ	る	場	合	有	効	評		改		改		改		改		改		改		改	
									価	の	善	善	善	善	善	善	善	善	善	善	善	善	善	善
評	価	の	視	点	地	域	交	流	サ	ロ	ン	会	場	の	拡	大	平	成	2	2	年	度	以	降
集	え	る	場	が	増	え	る	こ	と	で	自	立	や	社	会	参	加	が	促	さ	さ	れ	る	